

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 大成建設株式会社（証券コード:1801）

### 【新規】

発行登録債予備格付 A +

### 【見直し変更】

長期発行体格付 A +  
格付の見直し 安定的 ポジティブ

### 【据置】

債券格付 A +  
発行登録債予備格付 A +

### 格付事由

- 総合建設大手5社の一角を占める。施工実績は豊富で、国内における事業基盤は強固である。グループでは土木事業、建築事業のほか、大成有楽不動産によるマンション分譲などの開発事業も展開する。中期経営計画（2015 - 2017）では「建設事業本業の深耕」を掲げ、本業における中長期的な競争力向上に努めている。
- 長らく続いた建設不況の下で、当社は業務の集約化・効率化などによる固定費削減を進め、収益体質を強化してきた。当面、首都圏の再開発案件などの堅調な建設需要が見込まれ、高水準の収益維持が可能とみられる。さらに、実質無借金の定着や資本蓄積の加速により、財務基盤も強化されている。今後の収益見通しを踏まえると更なる資本蓄積が進むとみられ、強固な財務基盤の構築が見込まれる。以上を総合的に判断し、格付を据え置き、見直しはポジティブとした。
- 17/3期の営業利益は1,120億円（前期比4.7%減）の計画である。大型工事が完工する端境期にあたるが、土木事業における追加契約の獲得や建築事業の順調な施工により、高水準の収益が見込まれる。また、アルジェリアでの大型不採算工事は発注者との合意解約に至っている。18/3期は人件費や資機材が上昇する可能性があるが、資機材や協力会社の要員などの事前手配を進めており、コスト上昇の影響は吸収できるとみている。
- 17/3期第3四半期末時点の自己資本比率は34.8%と直近5期で15ポイント上昇し、自己資本は5,597億円まで増加している。今後も設備投資などが見込まれるが、営業キャッシュフローが投資を大きく上回るとみられ、実質無借金を維持する見通しである。

（担当）窪田 幹也・下田 泰弘

### 格付対象

発行体：大成建設株式会社

### 【新規】

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,000億円	2017年3月25日から2年間	A+

### 【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	A+	ポジティブ

### 【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第31回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2010年12月15日	2017年12月15日	1.58%	A+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 33 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2013 年 6 月 20 日	2018 年 6 月 20 日	0.66%	A+
第 34 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2013 年 12 月 13 日	2020 年 12 月 11 日	0.67%	A+
第 35 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2015 年 9 月 11 日	2022 年 9 月 9 日	0.527%	A+
対象	発行予定額	発行予定期間		予備格付	
発行登録債	1,000 億円	2015 年 3 月 25 日から 2 年間		A+	

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年3月21日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：島田 卓郎  
主任格付アナリスト：窪田 幹也
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）「総合建設」（2012年3月26日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
（発行体・債務者等） 大成建設株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関するJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
  - ・ 格付関係者が提供した格付対象の商品内容に関する書類
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### 用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

### NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル